

(入門編) ベートーヴェンを聴いてみよう!

曲目	解説	Naxos Music Library	ベルリンフィル・デジタルコンサートホール
エグモント序曲 Op.84	クラシックは長くてとっつきにくいと思っている方へのおススメです。ゲーテの同名の戯曲に書かれた劇音楽の序曲は劇的効果が抜群で、最後は壮麗な盛り上がりで圧倒されるでしょう。10分足らずのなかにベートーヴェンのエッセンスが詰まっています。	クラウディオ・アバド指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/5620658	クラウディオ・アバド指揮 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/86
交響曲第5番ハ短調「運命」 Op.67	ベートーヴェンの遺した9曲の交響曲はどれもが個性的な傑作揃いです。その中から3曲を厳選しました。冒頭の「タタター」は誰でも知っていますが、この音楽は全てこのリズムで統一され、苦難を乗り越えて勝利を勝ち取るドラマチックな音楽です。	ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/4510250	ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/210#
交響曲第7番イ長調 Op.92	「のだめカンタービレ」で人気を博した交響曲は、踊り狂うようなリズムが全曲に溢れています。最後の第4楽章の熱気とテンションの高まりは常軌を逸するほどのイケイケムードの押しで、聴く者をトランス状態へと導いてくれることでしょう。	カルロス・クライバー指揮 バイエルン国立管弦楽団 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/5187131	キリル・ペトレンコ指揮 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/51834#
交響曲第9番ニ短調Op.125「合唱付き」 Op.125	「喜びの歌」のメロディーで有名な「第九」は、音楽の世界遺産とも云える傑作です。オーケストラだけの延々と続く3つの楽章では苦難や幻想が描かれ、最後の第4楽章で歓喜に到達し、喜びと人類愛を謳歌します。シラーの歌詞を傍らに置いて音楽を味わってください。	ベルナルト・ハイティンク指揮 ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 オランダ放送合唱団 他 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/7933387	サイモン・ラトル指揮 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 ベルリン放送合唱団 他 https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/20290#
ピアノ協奏曲第5番変ホ長調「皇帝」 Op.73	オーケストラの一撃と共にピアニストが鍵盤上を駆け巡る壮麗な冒頭でいきなり聴き手を魅了します。颯爽と進んで行く様子は、数ある古今のピアノ協奏曲のなかでも「カッコいい」という言葉が一番似合う、「皇帝」の名にふさわしい音楽です。	Pf:マウリツィオ・ポリーニ カール・ベーム指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/4519550	Pf:ダニエル・バレンボイム クラウディオ・アバド指揮 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/71#
ピアノ・ソナタ第14番嬰ハ短調「月光」 Op.27-2	ベートーヴェンの32曲のピアノソナタも傑作揃いですが、そこから3曲を紹介します。「ムーンライトソナタ」の愛称で親しまれ、月明かりの湖上に浮かぶ小舟の情景にも例えられるこの曲は、瞑想的な第1楽章に始まり、第3楽章では怒涛のように突き抜けていきます。	Pf:マリア・ジョアン・ピレシュ https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/4761293	
ピアノ・ソナタ第17番ニ短調「テンペスト」 Op.31-2	ベートーヴェンが「シェイクスピアの『テンペスト』を読め」と言ったという逸話に由来するこの曲は、何かに取りつかれたような焦燥感に支配された第1楽章、深い瞑想と祈りに沈む第2楽章、軽やかなリズムに乗って悲し気に疾走する第3楽章、どれも個性と魅力に溢れています。	Pf:園田高弘 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/3696877	

<p>ピアノ・ソナタ第23番ホ短調「熱情」 Op.57</p>	<p>まさに「熱情」の名にピッタリの傑作です。「これでもか!」と言いたくなるほど激しい情熱で畳みかけ、熱にうなされて妄想を見ているようです。第2楽章では一転して深い淵を彷徨いますが、第3楽章では火が付いたように大暴れ。ベートーヴェンの強い個性をリアルに体験できる曲です。</p>	<p>Pf:ウラディーミル・アシュケナージ https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/8064933</p>	
<p>ヴァイオリン・ソナタ第9番イ長調「クロイツェル」 Op.47</p>	<p>数ある古今東西のヴァイオリン・ソナタの最高峰に位置する曲で、殆どのヴァイオリニストが自分のリサイタルの「勝負曲」としてこれを組み入れます。ヴァイオリンとピアノが激しく対峙し、或いは親密に語り合い、能動的で緻密なタペストリーを織り上げて行きます。</p>	<p>Vn:庄司紗矢香 Pf:ジャンルカ・カシオーリ https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/7998670</p>	
<p>ピアノ三重奏曲第7番変ロ長調「大公」 Op.97</p>	<p>ベートーヴェンが書いたピアノ、ヴァイオリン、チェロのためのピアノ三重奏曲の最後を飾るこの曲は、ある大公に献呈されて「大公」と呼ばれます。ベートーヴェン特有の激しい感情表現は控え目で、3つの楽器が伸び伸びとワクワクする音楽を繰り広げます。</p>	<p>ボザール・トリオ https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/4465584</p>	
<p>七重奏曲 変ホ長調 Op.20</p>	<p>総勢7人の弦・管楽器奏者のために団らん用として書かれ、親しみやすいメロディーと優雅で楽し気な雰囲気溢れ、発表当時から大変な人気を博しました。各楽器の名人技も披露され、音楽的にも充実していて、シューベルトはこれに影響されて同様の作品を書いています。</p>	<p>ベルリン・フィルハーモニー八重奏団 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/2424492</p>	
<p>チェロ・ソナタ第3番イ長調 Op.69</p>	<p>5曲あるピアノとチェロのための「チェロ・ソナタ」で人気ナンバーワンが第3番です。「傑作の森」と称される、ベートーヴェンが多くの名作を生み出した時期に生まれた曲で、味わい深いチェロの語りと歌、ピアノと繰り広げる生き生きとした対話など聴きどころに溢れています。</p>	<p>Vc:ミッシェル・マイスキー Pf:マルタ・アルゲリッチ https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/7153167</p>	

(応用編) ベートーヴェンを極めよう！

曲目	解説	Naxos Music Library	ベルリンフィル・デジタルコンサートホール
ピアノ協奏曲第2番変ロ長調 Op.19	「皇帝」や第4番が気に入っている方には、第2番のピアノ協奏曲がおススメです。出版の関係で2番となっていますが、ベートーヴェンが最初に書いた曲です。モーツァルトやハイドンのスタイルを残しながらも、若さ溢れる新鮮な息吹に新たなベートーヴェンを発見できるでしょう。	Pf:マルタ・アルゲリッチ クラウディオ・アバド指揮 マーラー室内管弦楽団 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/7465178	Pf:内田光子 指揮:サイモン・ラトル ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/292#
合唱幻想曲ハ短調 Op.80	技巧を凝らしたピアノ独奏がドラマチックに続いたあとにオーケストラが加わり、最後は合唱とソリスト陣も加わって壮大で華やかな音絵巻を繰り広げます。ベートーヴェンのなかでも異色の構成のこの曲は、のちの「第九」のメロディーや精神を先取りしているとも云われます。	Pf&指揮:ダニエル・バレンボイム ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 ベルリン・オペラ合唱団 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/2012331	Pf:ピーター・ゼルキン 指揮:小澤征爾 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 ベルリン放送合唱団 https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/22406#
ピアノソナタ第31番 変イ長調 Op.110	「入門編」で紹介した表題付きの有名なソナタを一通り聴いたら、晩年や初期のソナタを聴いてみましょう。晩年のソナタはどれも深い精神性を湛えています。31番は静謐な第1楽章から壮大なフーガが展開する終楽章まで、聴き手の心を掴み続けることでしょう。	Pf:内田光子 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/4458489	
ピアノソナタ第32番 ハ短調 Op.111	ベートーヴェン最後のピアノソナタは、怒涛のように押し寄せる第1楽章のあと、第2楽章では神々しいほど厳粛で深い美しさを湛えた彼岸の境地を思わせる音楽が延々と続きます。これを聴いてコロナでボロボロになった心が芯から癒されたと話すアーティストがいました。	Pf:アルフレッド・ブレンデル https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/8257287	
ピアノ・ソナタ第2番イ長調 Op. 2-2	晩年のソナタ群とは対照的な若々しいエネルギーに満ちた初期のソナタ群も魅力を放っています。第2番は弾けるような生命力だけでなく、優美さや深い詩情を聴かせる場面もあり、聴きどころ満載のソナタです。これが気に入ったら同時代の他のソナタも聴いてみましょう。	Pf:エミール・ギレリス https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/8256806	
ディアベリのワルツの主題による33の変奏曲ハ長調 Op. 120	単純なメロディーを様々にアレンジする変奏曲は作曲家の腕が試されるジャンルで、ベートーヴェンは色々な楽器のための変奏曲を多く残しています。その集大成と云えるのがこの曲で、ありとあらゆる可能性に挑み、持てる技を注ぎ込んで33の変奏による大作に仕上げました。	Pf:アンドラーシュ・シフ https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/6246417	

<p>「魔笛」の「恋を知る男たちは」の主題による 7つの変奏曲 変ホ長調 WoO 46</p>	<p>チェロとピアノのための変奏曲です。モーツァルトの人気オペラ「魔笛」の有名なメロディがチェロとピアノによって生き生きと、多彩にアレンジされて行きます。ベートーヴェンには「魔笛」の主題による優れた変奏曲がもう一つ (Op.66) あります。これもおすすめです。</p>	<p>Vc:ジャン＝ギアン・ケラス Pf:アレクサンドル・メルニコフ https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/7156643</p>	
<p>ヴァイオリン・ソナタ第10番 ト長調 Op. 96</p>	<p>「入門編」で紹介した「クロイツェル」の9年後に作曲した最後のヴァイオリン・ソナタは、アグレッシブな表現を超越して悟りの境地に到達したような静けさを湛えています。ヴァイオリンは縦横無尽に駆け巡る技巧を披露する代わりにデリケートで透明な歌を穏やかに奏でます。</p>	<p>Vn:イザベル・ファウスト Pf:アレクサンドル・メルニコフ https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/8317759</p>	
<p>弦楽四重奏曲第9番ハ長調「ラズモフスキー第3番」 Op.59-3</p>	<p>4つの弦楽器によるこの編成の音楽は、作曲の実力を示す勝負曲として多くの作曲家が力を注いでいます。ベートーヴェンが生涯に渡り残した16曲の弦楽四重奏曲のなかでも人気のがこの曲で、変化に富み、ドラマがあり、最後のフーガの白熱ぶりは一番の聴きどころでしょう。</p>	<p>クアルテット・エクセルシオ https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/8300384</p>	
<p>弦楽四重奏曲第15番イ短調 Op.132</p>	<p>ベートーヴェン晩年の弦楽四重奏曲はどれも緻密で巨大な建造物を思わせる傑作揃いですが、長大なものも多く、親しみ易いとは云えません。けれどその魅力を知れば新たな次元へ導かれるでしょう。この第15番の神への感謝を捧げた第3楽章など、白眉の存在と云えるでしょう。</p>	<p>アルバン・ベルク四重奏団 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/1198690</p>	
<p>弦楽三重奏曲第4番ハ短調 Op.9-3</p>	<p>ベートーヴェンの名曲のなかで弦楽三重奏曲はマイナーな存在です。20代の若い頃の作品ですが、とりわけこの第4番はハ短調という調性へのベートーヴェンの特別な思いが伺え、3つの弦楽器が真理に向かって邁進する姿が、のちの多くの傑作と比べても遜色のない充実ぶりです。</p>	<p>トリオ・ツィマーマン https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/1552208</p>	
<p>歌劇「フィデリオ」 Op.72</p>	<p>ベートーヴェンの唯一のオペラです。何度も改訂し、足掛け10年以上かけ心血を注いで完成しました。無実の罪で投獄された夫を妻が救い出すという単純な筋で、「愛」と「自由」がテーマと云えるでしょう。真っすぐなベートーヴェンの思いが音楽として開花しました。</p>	<p>フロレスタン:ヨナス・カウフマン(T) レオノーレ:ニナ・シュテンメ(S) クラウドディオ・アバド指揮 ルツェルン祝祭管弦楽団,マラー室内管弦楽団,アルノルト・シェンベルク合唱団 他 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/4722243</p>	<p>図書館3F AVブースで以下のDVDを視聴できます ・レヴァイン指揮メトロポリタンオペラ https://spica.dokkyo.ac.jp/detail?bbid=1000195012 ・ドホナーニ指揮コヴェント・ガーデン王立オペラ https://spica.dokkyo.ac.jp/detail?bbid=1000196740</p>

<若手アーティストによるベートーヴェン> Naxosより

藤田真央	1998年生まれ。日本のピアニスト。 2016年、故中村紘子氏が最後に審査員を務めた浜松国際ピアノアカデミーコンクールで第1位。2017年、弱冠18歳で第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクール優勝。併せて「青年批評家賞」「聴衆賞」「現代曲賞」の特別賞を受賞。今注目の若手ピアニスト。	アルバム「 ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第6番／ラフマニノフ：楽興の時／三善晃：ピアノ・ソナタ（藤田真央） 」より ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ第6番 へ長調 Op. 10-2 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/3449202
辻井伸行	1988年生まれ。日本のピアニスト、作曲家。 2009年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで、チャン・ハオチェンとともに優勝（日本人初）。	アルバム「 ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール2009 - 金メダリスト（辻井伸行） 」より ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ第29番 変ロ長調 「ハンマークラヴィーア」 Op. 106 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/6070508
アリス＝紗良・オット	1988年、ドイツのミュンヘン生まれのピアニスト。ドイツ人の父親と、日本人の母親を持つ。ヨーロッパを中心とした多数のコンクールの優勝経験がある。昨年、難病であることを公表した。	アルバム「 ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第3番、第21番「ワルトシュタイン」／アンダーテ・ファヴォリ／エリーゼのために／ロンド・ア・カプリッチョ「失われた小銭への怒り」（アリス＝紗良・オット） 」より ベートーヴェン／ロンド・ア・カプリッチョ ト長調 「失われた小銭への怒り」 Op. 129 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/8081972
庄司紗矢香	1983年生まれ。日本のヴァイオリニスト。1999年パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールにて史上最年少で優勝。	アルバム「 ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番「春」、第6番、第10番 」 Vn:庄司紗矢香/Pf:ジャン・ルカ・カシオーリ https://dokkyo.ml.naxos.jp/album/00600406583765
清塚信也	1982年生まれ。日本のピアニスト、作曲家、編曲家、俳優。 軽快な話し口から、最近ではテレビのバラエティなど活躍の幅を広げ、マルチな才能を発揮している。	アルバム「 ぐっすり眠れるクラシック Piano 」より ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 「悲愴」 Op. 13 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/4574727 アルバム「 清塚信也／松任谷由実／久石譲／坂本龍一：ピアノ作品集（清塚信也） 」より ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ第17番 ニ短調 「テンペスト」 Op. 31-2 - 第3楽章 アレグレット https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/5398771
ラン・ラン (Lang Lang)	1982年生まれ。中華人民共和国のピアニスト。日本のドラマ「のだめカンタービレ」では主人公のピアノの吹き替えを担当した。	アルバム「 ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第4番／ショパン：ピアノ協奏曲第2番（ラン・ラン／パリ管／ウィーン・フィル／エッシェンバッハ／メータ） 」より ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第4番 ト長調 Op. 58 https://dokkyo.ml.naxos.jp/work/4503618

洋楽に影響を与えたベートーヴェン Youtube & 図書館所蔵CDより

Billy Joel “This Night” Sonata Pathetique	影響を受けたアーティストや曲に捧げたアルバム『An Innocent Man』に収録。 ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」第二楽章を使用している。	https://spica.dokkyo.ac.jp/detail?bbid=1000338637
	Billy Joel を気に入った方は、彼の代表曲、Piano Man を聴いてほしい。 詩も含め、彼のすべてがそこにある。	https://www.youtube.com/watch?v=gxEPV4kolz0
	Prelude / Angry Young Man は、ベートーベンの情熱が乗り移ったような曲。	https://www.youtube.com/watch?v=BgyyFmDZrFA
The Beatles “Because” Moonlight Sonata	ビートルズ最後のアルバム『Abbey Road』に収録。 Yokoがピアノでベートーヴェンの「月光ソナタ」を弾いていたら、 ジョンが譜面を逆にした。そのとおりYokoが弾くと、ジョンが気に入り、 そこから生まれた曲。	https://spica.dokkyo.ac.jp/detail?bbid=1000197393 https://www.youtube.com/watch?v=hL0tnrl2L_U
	ちなみに、このアルバムの14-16曲目にかけて、壮大な交響曲のように展開する、 ビートルズ最後のアルバムにふさわしい感動的な仕上がりに、涙こぼるる...	https://www.youtube.com/watch?v=AcQjM7gV6ml&list=PLycVTiaj8OI-kwvNjgvvopMJt_x-y5mD&index=14 https://www.youtube.com/watch?v=6B224XDJw6g&list=PLycVTiaj8OI-kwvNjgvvopMJt_x-y5mD&index=15 https://www.youtube.com/watch?v=12R4FzlhdoQ&list=PLycVTiaj8OI-kwvNjgvvopMJt_x-y5mD&index=16
Michael Jackson “Will you be there” Ninth Symphony	アルバム『Dangerous』に収録。映画『フリー・ウィリー』の挿入曲 交響曲第9番 第4楽章 を使用している。	https://spica.dokkyo.ac.jp/detail?bbid=1000092473 https://www.youtube.com/watch?v=jQY_QL_wvQU
Chuck Berry “Roll over Beethoven”	影響というより、タイトルどおり、ベートーベンをぶっとばせ、という 時代を変えようとした曲。それだけベートーベンが偉大だったのか。 その後、多くのアーティストにカバーされた。	https://www.youtube.com/watch?v=kKlzUKLOm_U
The Beatles ELO	イントロで、『運命』を使用。	https://www.youtube.com/watch?v=Hz5jXwOXgKQ https://www.youtube.com/watch?v=cINMvAM3WPU
Rainbow “Difficult To Cure” Ninth Symphony	アルバム『Difficult to Cure』に収録。交響曲第9番・歓喜の歌 を使用している。 リッチー・ブラックモアが奏でる、「第九」ロックを聴け！	https://www.youtube.com/watch?v=zeQe5AVo7hk

映画に登場したベートーヴェン

図書館所蔵DVDより

～図書館3階 AVブースで視聴してください（ヘッドホン持参のこと）～

タイトル	監督/脚本ほか	解説	請求番号
敬愛なるベートーヴェン Copying Beethoven	アニエスカ・ホランド監督 クリストファー・ウィルキンソン, スティーヴン・J・リヴェル脚本	ベートーヴェンの晩年に焦点を当て、有名な「第九」誕生の背景と彼を支えたひとりの女性アンナとの絆を描いた作品です。ベートーヴェンの情熱的で力強い人間ドラマが描かれています。生涯に渡り、愛を成就させることのできなかった孤独な音楽家として知られるベートーヴェンの音楽家としての苦悩と脆さを、監督ならではの感性で描かれています。	DVD-778.233-Hg
https://spica.dokkyo.ac.jp/detail?bbid=1000369092			
楽聖ベートーヴェン Un grand amour de Beethoven	アベル・ガンス監督, 脚本	19世紀はじめ、若きベートーヴェンはウィーンの娘ジュリエッタに思いを寄せていましたが、彼女は伯爵と結婚してしまいます。そんな失意の彼を慰めるテレゼとの愛も報われぬまま、彼は次第に聴覚を失っていきます。苦悩の中で数々の名曲を生み出した「楽聖」が、死を迎えるまでの伝記映画です。彼の数々の名曲が挿入されていて、ファンにはたまらない映画です。	DVD-778.235-Gd2
https://spica.dokkyo.ac.jp/detail?bbid=1000369095			
不滅の恋：ベートーヴェン Immortal beloved	バーナード・ローズ監督・脚本 ブルース・デイヴィ製作	音楽家としては致命的な困難である聴覚障害を抱えながら、数々の名曲を残したベートーヴェン。彼が遺書に残した「不滅の恋人」を探す、彼の弟子で親友のシンドラの姿を通し、ベートーヴェンの壮絶な苦悩と波瀾に満ちた人生をダイナミックに描いています。彼の手紙の中に書かれてあった「不滅の恋人」を巡るロマンティック・ミステリー作品です。	DVD-778.253-Ro
https://spica.dokkyo.ac.jp/detail?bbid=1000369093			
ベジャールの「第九交響曲」 The ninth symphony : on Schiller's ode to joy	[ベートーベン作曲] ; モーリス・ベジャール振付 ; 東京バレエ団, モーリス・ベジャール・バレエ団 ; ズービン・メータ指揮 ; イスラエル・フィハーモニー管弦楽団 ; 栗友会[合唱]	1964年、東京バレエ団が創立された年に初演されたモーリス・ベジャール振付によるベートーヴェン「第九交響曲」。その第九交響曲が、東京バレエ団創立50周年にモーリス・ベジャール・バレエ団との共同制作により東京、NHKホールで2014年に上演された際の映像がDVD化されました。ダンサー、オーケストラ、独唱歌手、合唱団の総勢350人が繰り広げる大スペクタクルの舞台映像は圧巻で、それを高画質で楽しむことができます。	DVD-769.345-B2
https://spica.dokkyo.ac.jp/detail?bbid=1000369097			
ダンシング・ベートーヴェン Dancing Beethoven	アランチャ・アギーレ監督 モーリス・ベジャール振付	上記で紹介しているのは、「第九」をバレエで表現した「第九交響曲」の2014年上演の映像そのものですが、本作は、それに取り組む人々に密着したドキュメンタリーとなっています。東京バレエ団とモーリス・ベジャール・バレエ団の共同制作として、故モーリス・ベジャール振付による「第九交響曲」のステージが出来上がるまでの度重なるリハーサルの様子や、様々な文化的背景を持つダンサーたちが織りなす人間ドラマに密着した感動のドキュメンタリーです。 ※DVDとブルーレイの2種類がありますのでお好きなほうをご覧ください。	DVD-769.345-A BD-769.345-A
https://spica.dokkyo.ac.jp/detail?bbid=1000369096			
https://spica.dokkyo.ac.jp/detail?bbid=1000369326			